

Q² ニュースでワクチンの有効率が 95%と聞きました。それって、すごいんですか？



A この有効率は、非常に高く、打たない手はないと思います。

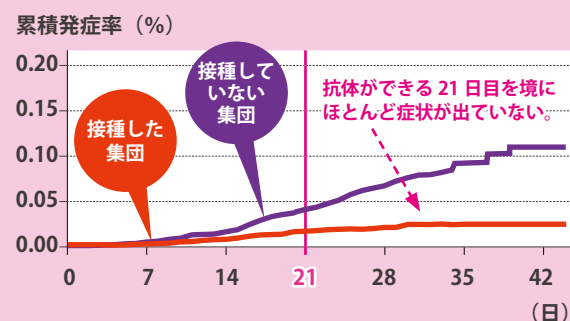
インフルエンザワクチンは有効率 60%ほどと言われていますが、先日、イスラエルでの研究論文によると 95%と発表されています。これは、世界でも有名な医療雑誌に掲載されたものです。イスラエルは世界で一番新型コロナウイルスのワクチン接種が進んでいる国で、国民の半数が今回のファイザー製のワクチンを接種しています。

この論文では、驚くべきことに、有効率が 95%という結果を表していることです。有効率 95%というのは、例えば、ワクチン未接種者のうち 100 人に症状がでているのに対して、接種者では、5 人にしか症状が出ていないということです。

右のグラフを見るとワクチンを接種した人は、抗体ができる 21 日目（接種から 3 週間後）を境

にほとんど症状が出ていないことが分かります。これは、重症化を抑えられているということです。

◎重症新型コロナウイルス感染者数



※ HP / The NEW ENGLAND JOURNAL of MEDICINE
全国的な集団ワクチン接種環境における BNT162b2mRNA Covid-19 ワクチン参照

Q⁴ 市民の皆さんにメッセージをお願いします。

A ワクチン接種で普段の生活を取り戻しましょう。

新型コロナウイルスの死亡率は、重症化に伴い 3～4%と言われていますが、これに比べ、先に述べたアナフィラキシーショックの発症率は、0.003%くらいと言われています。

このことから、新型コロナウイルスの重症化が、どれだけ怖い事かがお分かりになるかと思います。有効性 95%というワクチンを打たないという手はないと私は思っています。接種するかどうかは皆さんの選択によりますが、皆さんがワクチンを接種して、普段の生活が取り戻せるといいですね。

Q³ ワクチンの副反応とはどんなものですか？

A どんなワクチンでも起こることのある反応です。

副反応とは、「痛み」や「腫れ」、次いで「熱・咳が出る」反応です。また、じんましんなどの「アナフィラキシー」や、血圧低下や意識障害を引き起こす「アナフィラキシーショック」などもあります。しかし、これらの症状は、適切な処置を行うことで、大事に至ることはありません。接種会場となる医療機関等では、それらの処置を行うための環境を整えていますので、過度な心配はされずに、インフルエンザのワクチンと同じようなイメージを持っていたいただきたいと思います。

気になることを聞きました！

新型コロナワクチン

Q & A

新型コロナワクチンは、WEB サイトでも！



新型コロナウイルスワクチンの住民を対象にした接種がいよいよ開始されます。今回は、新型コロナウイルスワクチンについて、垂水市の健康長寿・子育て支援の取組にアドバイスをいただいている垂水市スーパーバイザーの大石充教授と、垂水市の医療現場を支える医師を代表して、肝属郡医師会の池田誠会長にお話を伺いました。

※広報誌編集の関係で、3月19日現在の情報をお届けしています。

Q¹ 新型コロナワクチン接種はなぜ必要ですか？

A 重症化を抑えるという意味で重要なことです。

新型コロナウイルスは、風邪に似たウイルスですが、重症化すると風邪などと比べて、死亡率が高くなってしまふことが問題です。今回のワクチンは、重症化を抑えるという意味では、とても有効なワクチンです。

また、ウイルス疾患は、集団免疫という考え方（集団の 70%程度が抗体を持つこと）があり、多くの方が抗体を持つことでウイルスは減っていくとされています。ウイルスは、人の身体がないと生きていけません。ワクチンを接種してウイルスが生きられない環境をみんなで作ることが大切です。

垂水市スーパーバイザー

鹿児島大学大学院医歯学総合研究科
循環器・呼吸器学講座
心臓血管・高血圧内科学分野

大石 充 教授

